

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 7 部門第 4 区分

【発行日】平成 24 年 8 月 2 日 (2012.8.2)

【公開番号】特開 2007-325491 (P2007-325491A)

【公開日】平成 19 年 12 月 13 日 (2007.12.13)

【年通号数】公開・登録公報 2007-048

【出願番号】特願 2007-138510 (P2007-138510)

【国際特許分類】

H 0 2 K 1/18 (2006.01)

H 0 2 K 7/14 (2006.01)

H 0 2 K 1/12 (2006.01)

H 0 2 K 3/24 (2006.01)

【F I】

H 0 2 K 1/18 A

H 0 2 K 7/14 B

H 0 2 K 1/12 A

H 0 2 K 3/24 J

H 0 2 K 1/18 C

【手続補正書】

【提出日】平成 24 年 6 月 15 日 (2012.6.15)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

少なくとも 1 つのエンクロージャ (1 5 0) がその中に画定された圧力容器 (1 0 5) と、

前記圧力容器内に配置された、複数の部材 (2 1 4) を備えたヨーク (2 0 4) であって、前記部材の各々が少なくとも 1 つの整合表面 (2 1 6) を備え、前記部材が前記整合表面に沿って取外し可能に一体に結合されたヨーク (2 0 4) と、

前記ヨーク内に配置された、複数のスロット (2 0 8) を画定する複数の歯 (2 0 6) であって、隣接する歯がそれらの間にスロットを画定する複数の歯 (2 0 6) とを備え、

前記少なくとも 1 つのエンクロージャ (1 5 0) が、前記圧力容器 (1 0 5) 内の少なくとも一部に、第 1 の流体の輸送を容易にする少なくとも 1 つの壁 (2 5 1、2 5 2) を備え、

前記少なくとも 1 つのエンクロージャ (1 5 0) が、その中に第 2 の流体を維持するように構成され、

前記第 2 の流体が次に前記第 1 の流体から分離される、電気機械 (1 0 4) のための固定子アセンブリ (1 2 2) 。

【請求項 2】

前記少なくとも 1 つのエンクロージャ (1 5 0) の少なくとも 1 つの壁 (2 5 1、2 5 2) が、第 1 の部材 (2 4 0) および前記第 1 の部材から延びる第 2 の部材を備え、かつ、少なくとも 1 つの固定子末端巻線 (2 4 2) を支持するように構成され、前記少なくとも 1 つのエンクロージャの第 1 および第 2 の部材が、少なくとも 1 つの固定子末端巻線 (2 4 4) から前記第 2 の流体への熱の伝達を容易にする、請求項 1 に記載の固定子アセン

ブリ (1 2 2)。

【請求項 3】

前記少なくとも 1 つのエンクロージャ (1 5 0) の第 1 の部材 (2 4 0) が、
実質的に円筒状のアセンブリと、

複数の表面を画定する複数の突出部を備えた多角形アセンブリ

のうちの少なくとも一方を備えた、請求項 2 に記載の固定子アセンブリ (1 2 2)。

【請求項 4】

前記第 1 の部材 (2 4 0) が、

個々の表面が前記複数のスロット (2 0 8) のうちの対応するスロットの実質的に中心に位置している複数の表面 (2 1 8) と、

個々の表面が前記複数の歯 (2 0 6) のうちの対応する歯の実質的に中心に位置している複数の表面 (2 1 6) と、

前記複数の歯および前記複数のスロットの各々の実質的に中心に位置している複数の表面 (2 2 0)

のうちの少なくとも 1 つを備えた、請求項 2 に記載の固定子アセンブリ (1 2 2)。

【請求項 5】

前記第 1 の部材 (2 4 0) の少なくとも一部が前記複数のスロット (2 0 8) の少なくとも一部の中に展開し、前記複数の歯 (2 0 6) の少なくとも一部が前記第 1 の部材の少なくとも一部の中に延びる、請求項 2 に記載の固定子アセンブリ (1 2 2)。

【請求項 6】

前記圧力容器 (1 0 5) が、前記圧力容器の半径方向の外部表面から外側に向かって延びる少なくとも 1 つの突出部を備え、前記少なくとも 1 つの突出部が、前記ヨークおよび少なくとも 1 つの固定子アセンブリ末端巻線 (2 4 2) からの熱の伝達を容易にしている、請求項 1 に記載の固定子アセンブリ (1 2 2)。

【請求項 7】

前記圧力容器 (1 0 5)、前記ヨーク (2 0 4) および前記複数の歯 (2 0 6) が、前記複数の歯の少なくとも一部と前記ヨークの少なくとも一部の間の締め、および前記複数の歯の少なくとも一部と前記エンクロージャ (1 5 0) の少なくとも一部の間の締めが容易になるように結合された、請求項 1 に記載の固定子アセンブリ (1 2 2)。

【請求項 8】

少なくとも 1 つの回転可能軸を備えた流体輸送アセンブリと、

回転子アセンブリ (1 2 0) および固定子アセンブリ (1 2 2) を備えた駆動電動機 (1 0 4) であって、前記固定子アセンブリ (1 2 2) が、圧力容器 (1 0 5)、ヨーク (2 0 4) および複数の歯 (2 0 6) を備え、前記圧力容器が、その中に画定された少なくとも 1 つのエンクロージャ (1 5 0) を備え、前記ヨークが複数の部材 (2 1 4) を備え、前記部材の各々が少なくとも 1 つの整合表面 (2 1 6) を備え、前記部材が前記整合表面に沿って取外し可能に一体に結合され、前記ヨークが前記圧力容器の中に配置され、前記複数の歯が複数のスロット (2 0 8) を画定し、隣接する歯がそれらの間にスロットを画定し、前記複数の歯が前記ヨークの中に配置され、前記回転子が前記固定子アセンブリに磁気結合され、前記駆動電動機の回転子アセンブリが、前記流体輸送アセンブリの少なくとも 1 つの回転可能軸に回転可能に結合された駆動電動機 (1 0 4) とを備え、

前記少なくとも 1 つのエンクロージャ (1 5 0) が、前記圧力容器 (1 0 5) 内の少なくとも一部に、第 1 の流体の輸送を容易にする少なくとも 1 つの壁 (2 5 1、2 5 2) を備え、

前記少なくとも 1 つのエンクロージャ (1 5 0) が、その中に第 2 の流体を維持するように構成され、

前記第 2 の流体が次に前記第 1 の流体から分離される、
流体輸送ステーション。